

空手 LIFE

「カラテ・ライフ」

2010.Apr

No.33

4

特集

勝つための自主練

塚本徳臣

「自主練が、本当の稽古」

塚越孝行

「空手の稽古だけでは、強くなれない」

緑健児代表の現役時代

菊原嘉章のセルフマネジメント術

ミットの受け方を極めよう!!

三好一男師範、坂本龍馬を語る

将口恵美の女子流テクニック

世界KARATE紀行～デンマーク～

極真魂の継承者たち～外館慎一師範～

資料用 持出禁止

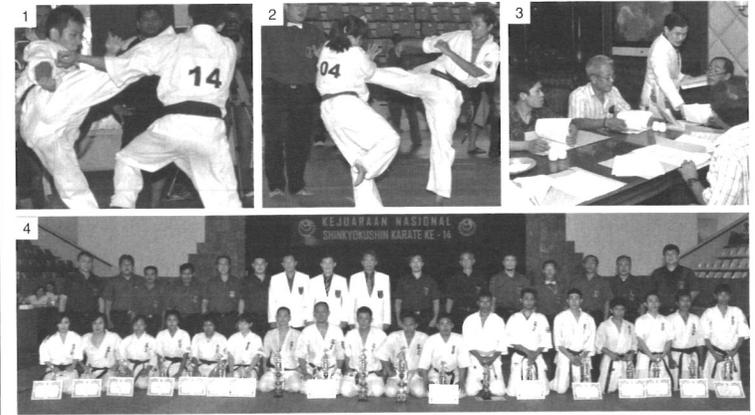
Indonesia
インドネシア

インドネシア支部、創立28周年
熱戦でさらなる発展を誓う

1月24日、インドネシアのスマラン市において『第14回新極真空手全インドネシア大会』が開催され、男子3階級と女子の部で熱戦が繰り広げられました。

また前日の23日には、大会の型部門が実施されたほか、インドネシア新極真会の創立28周年を祝う記念行事が開催されまし

た。記念行事では、国内7つの地方から120名の道場生が集まって合同稽古を実施。また有段者のための審判テストや理事会も行なわれました。夜にはレセプションが開かれ、参加者たちは親睦を深めるとともに、インドネシア支部のさらなる発展に向けてともに努力していくことを誓いました。



【1】3階級で争われた男子の部。【2】女子の部は無差別で行なわれました。【3】前日に行なわれた理事会の模様。28周年を迎えたインドネシア支部の今後について議論が交わされました。【4】大会役員・スタッフ（後列）と入賞者

RESULTS
第14回新極真空手全インドネシア大会

男子60Kg級
優勝 フィゴール・イワン (ケディリ)
準優勝 ファジリ・アナンダ (バリ)
3位 ステファン・クリスティアン (スラバヤ)
4位 M.ザエナル・アビディン (マタラム)

男子70kg級
優勝 プディ・ラハルジョ (ジェムベール)
準優勝 ハルディアン (スラバヤ)
3位 スゼン・ムリヨノ (スマラン)
4位 ナナン・アリ・S (ケディリ)

男子無差別級
優勝 フダ・ダウム・I (スラバヤ)
準優勝 アンディ・インタン (メダン)
3位 ジェゼ・チャンドラ (ジャカルタ)
4位 ロイ・ベルナド (スラバヤ)

女子無差別級
優勝 アンジェリン・コシム (メダン)
準優勝 マーサ・ララスワティ (マディウン)
3位 モナ・ララスワティ (マディウン)
4位 ノヴィ・ラーマワティ (トゥルン・アグン)

型部門 男子
優勝 ヘンドリー・イエウン (ジャカルタ)
準優勝 ジェゼ・チャンドラ (ジャカルタ)

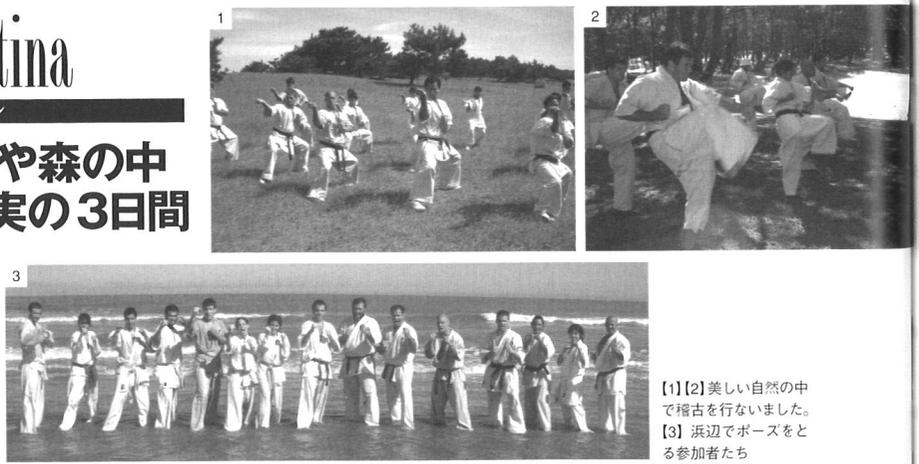
型部門 女子
優勝 アンジェリン (メダン)
準優勝 フランシスカ・AH (スラバヤ)

Argentina
アルゼンチン

稽古場所は浜辺や森の中
自然に囲まれ充実の3日間

2月19日から21日の3日間、アルゼンチンの大西洋岸に位置するネコチェア市において、『2010年アルゼンチン支部サマーキャンプ』が行なわれました。

砂浜や森林など、雄大な自然に囲まれた場所での稽古で、参加者たちはのびのびと稽古に取り組み、また互いに友情を深め合いました。

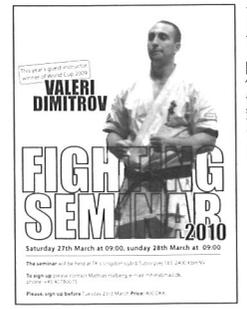


【1】【2】美しい自然の中で稽古を行ないました。【3】浜辺でポーズをとる参加者たち

Denmark
デンマーク

ファイティング・
セミナーで
ヴァレリーが指導!

3月27・28日、デンマーク支部のマティアス・ハルベルグ参段が主催する『ファイティング・セミナー2010』が首都コペンハーゲンで開催されます。今回のセミナーでは、第4回カラテワールドカップ重量級優勝のヴァレリー・ディミトロフ選手がゲストインストラクターとして指導を行なう予定です。



セミナー開催告知ポスター

Uruguay
ウルグアイ

カラテを通じた社会貢献を实践!
暴力と虐待に立ち向かう1500本の突き

2009年12月5日、ウルグアイ支部は首都モンテビデオ市において、『社会不安、差別、すべての形の暴力と虐待をなくすために掲げる1500本の突き』と題したイベントを開催しました。

このイベントは、モンテビデオスポーツ大臣の後援と、このテーマに取り組んでいる他のいくつかの社会活動団体の承認を受けて開催されました。エドゥアルド・ガルシア支部長は『真剣勝負のカラテが決して暴力的なものではなく、人間としての社会的価値観と倫理観を維持し、平和をもたらすものであるということ、このデモンストレーションを通して明示します』と、このイベントの意義を語りました。

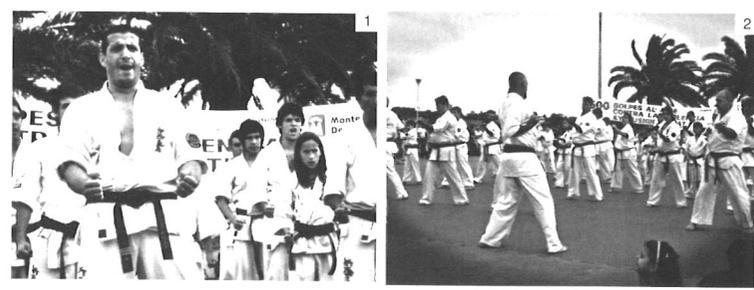
道場生たちは突き1500本を完遂しただけでなく、組手や試割りなども披露して会場に集まった多くの観客から大きな拍手を浴びていました。

ウルグアイ支部では、これまでもホームレス支援のための募金や食料、衣類の収集活動に協力してきました。またウルグアイ国際血液センターの協力を得て献血事業

に協力するボランティア団体を立ち上げ、活動しています。

ガルシア支部長はこのイベントの開催にあたり、南アメリカ各国の支部に対して『カラテの技を競うことは私たちの団体が重視している要素の一つです。しかし同時に最も重要なことは、大山倍達総裁がおっしゃっていた通り、修練者の哲学的な発展と個人の成長であります。そのため、私たちは責務の一つとして、正直さ、謙遜する心、奉仕の心、連帯感というような価値観を広めるためにできることを考えるべきだと思います。私たちはNPO特定非営利活動法人全世界空手道連盟という、国際的な非営利の目的をもった団体のメンバーであり、それゆえに、社会的な規範に従い、共同体参加をしていく使命があります』と社会貢献活動への積極的な参加を呼びかけました。

南アメリカ地域の各支部と手を取り合っ、今後ますます発展していくことが期待されるウルグアイ支部の社会貢献活動。その取り組みは国内外からさらに注目を集めそうです。



Portugal
ポルトガル

日頃の稽古の成果を披露!
『第1回ファイティングスピリット』開催

1月30日、ポルトガル支部が主催する大会『第1回カラテファイティングスピリット』がポルトガルのモンティージョにおいて開催されました。

参加者を3級以下に限定した本大会ですが、試合会場の熱気と出場者たちの闘いにかける熱意は有段者のそれと変わりません。また、他流派の選手も出場しましたが、大会全体を通して新極真会の選手が最も活躍し、ファビアーノ・モレイラ支部長を中心とした、ポルトガル支部の道場生たちの厳しい稽古の成果が出た形となりました。

【1】子供も数多く参加しました。【2】入賞者(前列)と大会役員・スタッフ

